

呼吸器科・肺腫瘍内科

《概要》

平成9年10月新病院開院以降、肺癌をはじめ広く呼吸器疾患全般を専門に診療に当たり、平成19年6月1日からは呼吸器科から肺腫瘍内科と診療科名を変更し、肺癌をはじめとする呼吸器腫瘍疾患を専門に診療を続けてきました。

平成20年5月31日に植島久雄 部長が開業のため退職。その後、常勤医師は肺腫瘍内科医長 森山あづさ 一人となりましたが、呼吸器外科尹部長の協力の下、気管支鏡検査、化学療法、放射線治療などの腫瘍疾患への検査および集学的治療を続けております。

また、平成20年11月1日から西淀病院より康天志医師が呼吸器科医長として赴任し、一般呼吸器・アレルギーを中心に診療を開始しました。

外来日は火曜日と木曜日は肺腫瘍内科 森山あづさ、水曜日と金曜日は呼吸器科 康天志 が担当です。

気管支鏡は月曜日と木曜日の午後行っており、事前の受診が必要です。

《実績》 2008年6月～2009年5月

気管支鏡症例数	62例
肺癌 化学療法	23例
化学療法同時放射線治療	3例
症状緩和	5例
非腫瘍性良性疾患	18例